

プロフィール

安藤志保(旧姓:森宗)

1969 年生まれ 43 歳

小泉小学校、第五中学校、
三原東高等学校、ノートル
ダム清心女子短期大学(英
文学科)卒業

夫、娘の3人家族

趣味は、ジョギング、自転
車、ダンス

(経歴)三菱重工業(株)三原
製作所勤務、深小学校 PTA
会長、中国新聞読者モニタ
ー、広島県「環の応援団サ
ポーター養成支援事業」講
師、三原市市民協働のまち
づくり推進員

(現職)三原市廃棄物減量
等推進審議会委員、環境審
議会委員、広島県環境保全
アドバイザー、広島県地球
温暖化防止活動推進員、脱
温暖化センターひろしま運
営委員、エフエムおのみち
「そぼくなエコ」担当、ネット
ワーク『みどりのはらっぱ』
代表、広島連塾 Sus☆テラ
ス代表

(メディア出演)テレビ新広島
特番「同じ空の下で その
時、ヒロシマは」、広島テレビ
「テレビ宣言」、NHK・BS2「行
くよ！後輩 ほいきた！先
輩」、RCC テレビ「イマなま3
チャンネル」など

発行：2013.1.20 あんどう志保と「みどりのはらっぱ」の会

あんどう志保

の
みどりの

第2号 はらっぱ

通信

ホームページ <http://andoshiho.jimdo.com/>

はじめに

1993 年に長女を出産。翌年には、地下鉄サリン事件や、いじめによる自殺がクローズアップされる事件が起きたり、自然が大好きで会員になっていた WWF (世界自然保護基金) から送られてくるレッドデータリスト (絶滅の危機にある生物のリスト)、地球温暖化のニュースなどから、「この子が大きくなる頃、どんな世の中になっているんだろう…」と、漠然とした不安を抱いていました。

そんな頃に出逢ったのが「自分が変われば、まわりが変わり、世界が変わる」という言葉。心配しながら受身で待っているのではなく、「こうなってほしい！」未来に向けて、自分にできることをやってみよう！と、市民グループをつくって勉強や活動を始めました。

「こうなってほしい♪」に向けて

自然豊かで美しく、
安心でおいしい地域の食材があふれ、
「もったいない」と物を大切に、
子どもたちはのびのび・すくすく育ち、
人も自然も、生き活きと！
そんな三原のまちに！との思いを込めた
「みどりのはらっぱ」です。



☺たれつき帽子をかぶって、給食の生ごみ堆肥で元気野菜をつくっている園児達。まずは、生ごみを出さない工夫から伝えています。

有害紫外線が特に子ども達にとって危険であることが分かり、他市町で対策が行われていることを知った時、三原では特に対策がとられておらず、署名を募って、三原市教育委員会に申し入れをしました。今は環境省から「紫外線保健指導マニュアル」が発行され、三原でも幼稚園などでのたれつき帽子 (日よけ付き帽子) が一般的になっています。今後も、地産地消の給食や学校での命を大切に教育など、子ども達が健康に成長できる三原のまちを目指していきます。